

平成17年度 東北地方整備局事業概要

～ 『強く美しい東北』を目指して～

平成17年3月25日
東北地方整備局

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(港湾空港関係以外) TEL 022-225-2171 (代)

(港湾空港関係) TEL 022-716-0005 (ダイヤル)

総括	企画部 企画課長	たなか 田中 倫英 (内線3151)
都市・住宅 下水道関係	建政部 都市・住宅整備課長	たなか 田中 政幸 (内線6161)
河川関係	河川部 河川計画課長	こんどう 近藤 修 (内線3611)
道路関係	道路部 道路計画第一課長	あおやぎ 青柳 太 (内線4211)
港湾空港関係	港湾空港部 港湾計画課長	あさやま 麻山 健太郎 (内線6311)
営繕関係	営繕部 計画課長	まるた 丸田 智治 (内線5151)
用地関係	用地部 用地第一課長	すずき 鈴木 毅 (内線4751)
会計関係	総務部 会計課長	おおぞね 大曾根 城次 (内線2411)

平成 17 年度
東北地方整備局事業概要
～ 『強く美しい東北』を目指して～

目 次

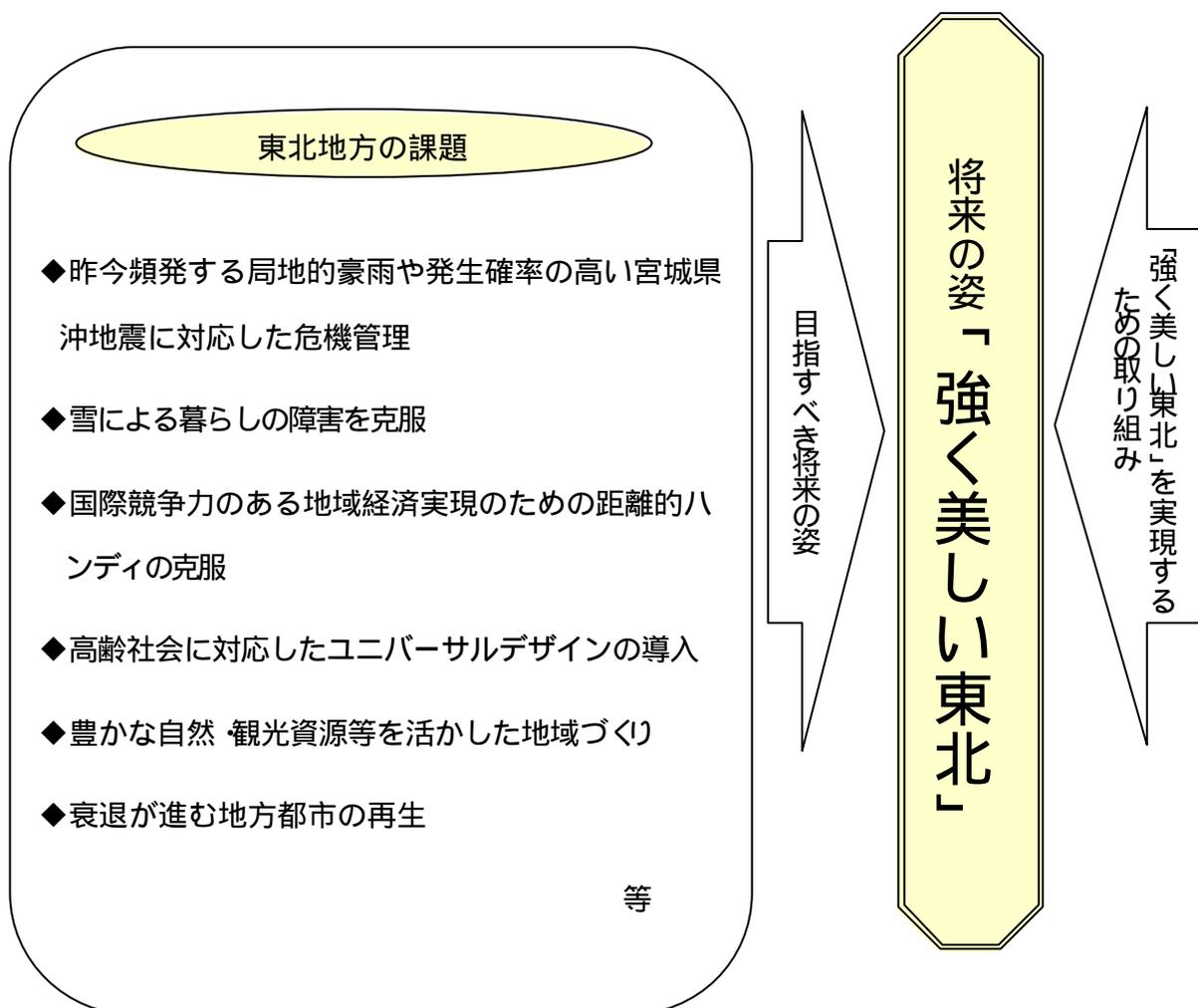
1 . 平成 17 年度事業の基本方針	1
2 . 平成 17 年度予算概要	3
3 . 平成 17 年度の重点事項	6
4 . 地域との対話の重視	27
5 . 効率的な事業執行	28
(参考)	
目標達成のための指標一覧 及びフォローアップ状況	29

1 . 平成 17 年度事業の基本方針

東北地方整備局の平成 17 年度予算においては、『社会資本整備に係る東北地方の将来の姿』に示す「強く美しい東北」の実現に向け、河川・道路・港湾等の社会資本整備を重点的かつ効率的に進めてまいります。

中でも、昨年頻発した風水害や発生確率の極めて高いとされる宮城県沖地震などの自然災害への対応について、最重点課題として取り組んでまいります。

社会資本整備に係る東北地方の将来の姿～ 強く美しい東北」を目指して～』
(概要図)



実現するための『4つの基本方針』 と 『8つの重点事項』

安全で安心できる地域づくり

あらゆる災害や豪雪に対応した施設整備とソフト対策の推進、ユニバーサルデザインの導入などにより、誰もが快適で暮らしやすい「安全で安心できる地域づくり」を目指します。

あらゆる災害に強い安全な地域づくり

雪に強く、安心で快適な地域づくり

高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

強い東北の創造

産業の自立した発展を支えるため、物流の効率化、人と情報の交流・連携を支える社会基盤の整備を進め、「強い東北の創造」を目指します。

縦、横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

美しい東北の実現

循環型社会を構築するとともに、美しい山河、豊かな自然、独特な文化を適切に保全し、観光等に有効活用し、周辺環境と調和のとれた「美しい東北の実現」を目指します。

東北らしい自然環境との共生

循環型社会の構築

魅力ある都市づくり

自然や環境との共生、職住近接、土地利用の高度化などにより、効率的で持続可能な都市を形成するとともに、歴史や文化を活かした個性を持つ「魅力ある都市づくり」を目指します。

「コンパクトシティ」の推進

地域との対話の重視

効率的な事業執行

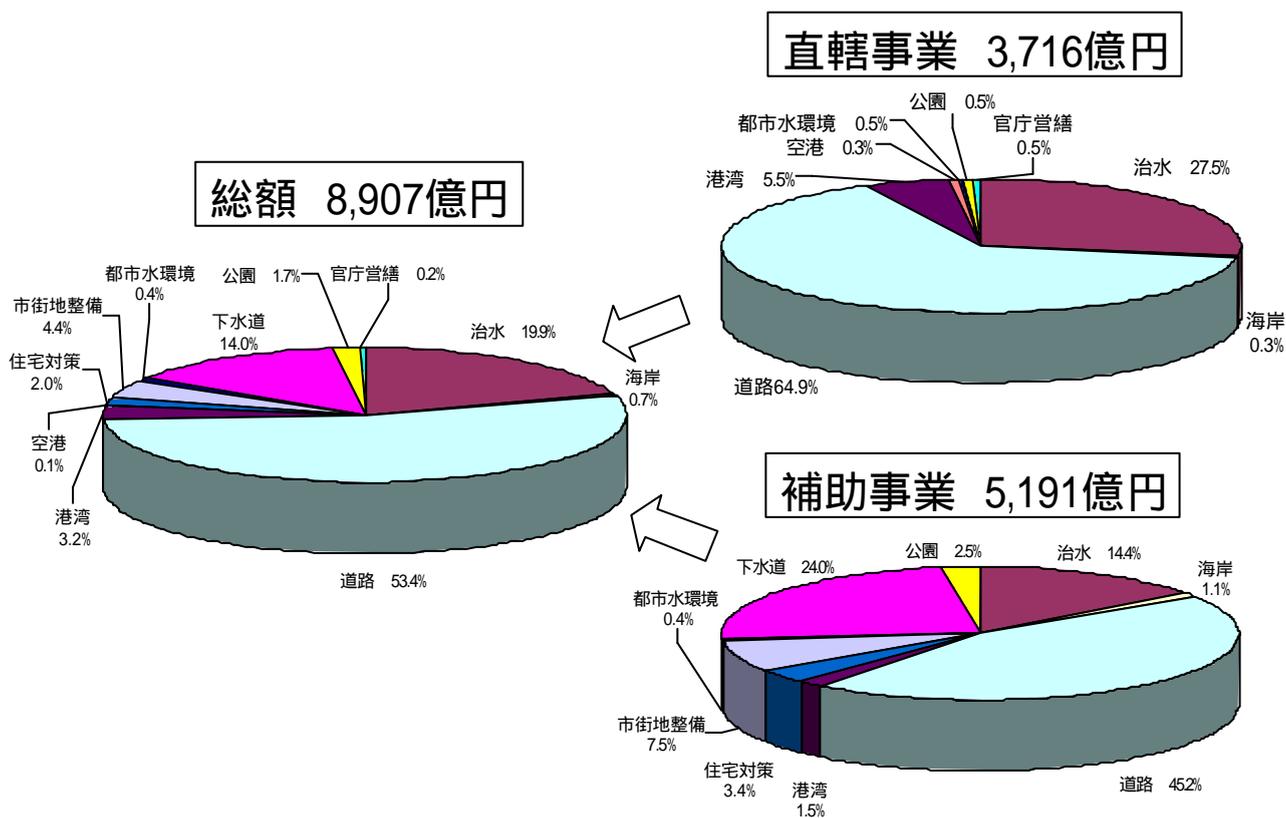
2 . 平成 1 7 年度予算概要

平成 1 7 年度事業費

総 額 8,907 億円

(単位 : 百万円)

	直 轄	補 助	計	H16比
治 水	102,346	74,654	177,000	0.911
海 岸	929	5,448	6,377	0.984
道 路	241,091	234,630	475,721	0.967
港 湾	20,397	7,959	28,356	0.949
空 港	1,184		1,184	0.481
住 宅 对 策		17,671	17,671	0.850
市 街 地 整 備		39,173	39,173	2.138
都 市 水 環 境	1,814	2,268	4,082	1.743
下 水 道		124,405	124,405	0.904
公 園	1,925	12,901	14,826	0.798
官 庁 営 繕	1,924		1,924	0.690
計	371,610	519,109	890,719	0.962



平成17年度事業費県別内訳

直轄

(単位：百万円)

県名	治水				海岸	道路	港湾整備	空港	都市水環境整備	都市公園	官庁営繕	合計	
	河川	ダム	砂防	河川災害									
青森県	2,510	4,412		3	6,924	0	19,275	4,717	240		412	31,568	
岩手県	5,815	14,293	780	4	20,892	138	33,882	4,907	495		185	60,499	
宮城県	11,451	4,977		2	16,430	781	22,535	3,801	1,184	1,925	74	47,179	
秋田県	6,842	16,997	545	10	24,394	0	59,919	2,503	226		220	87,262	
山形県	6,200	13,234	5,378	10	24,822	0	57,177	1,883	391		592	84,865	
福島県	3,319	3,242	912		7,473	0	37,050	2,423			245	47,191	
仙台市					0	0	8,953				196	9,149	
合計	36,136	57,155	7,615	28	100,934	919	238,791	20,234	1,184	1,801	1,925	1,924	367,712

1)百万円未満は四捨五入している。

2)調査費、建設機械整備費、電気事業者等工事費負担金還付金、作業船整備費は含まない。

補助

(単位：百万円)

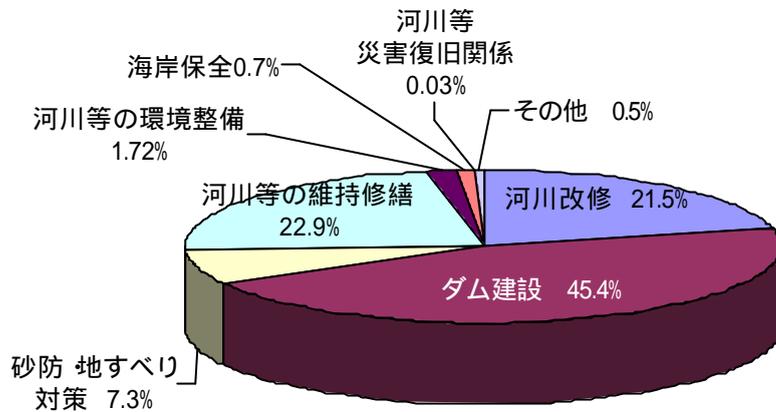
県名	治水				海岸	道路	港湾整備	住宅対策	市街地整備	都市水環境整備	下水道	都市公園	合計	
	河川	ダム	砂防	急傾斜										
青森県	6,701	1,033	2,781	1,223	11,738	2,001	32,569	2,237	2,234	5,073	194	16,800	2,403	75,249
岩手県	3,390	5,399	1,484	549	10,822	905	37,157	1,250	913	3,393	80	17,505	882	72,906
宮城県	3,406	4,152	1,803	740	10,101	741	26,190	1,520	1,950	4,748	255	20,358	135	65,998
秋田県	3,879	3,423	4,289	539	12,130	624	42,146	1,199	1,178	3,716	50	17,048	5,040	83,131
山形県	3,348	2,800	3,280	711	10,139	236	30,855	546	5,338	7,201	866	18,182	396	73,758
福島県	7,869	6,610	3,789	1,001	19,269	940	50,409	1,207	4,336	7,601	823	25,289	2,639	112,512
仙台市	456				456	0	15,305		1,722	7,442	0	9,223	1,406	35,554
合計	29,048	23,417	17,426	4,763	74,654	5,448	234,630	7,959	17,671	39,173	2,268	124,405	12,901	519,109

1)百万円未満は四捨五入している。

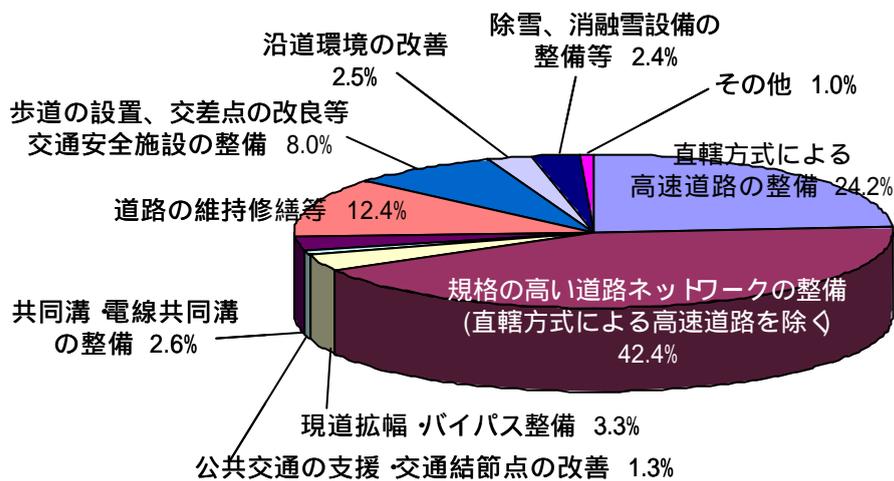
2)各項目の合計は四捨五入の関係で一致しない箇所がある。

直轄事業費用途別内訳

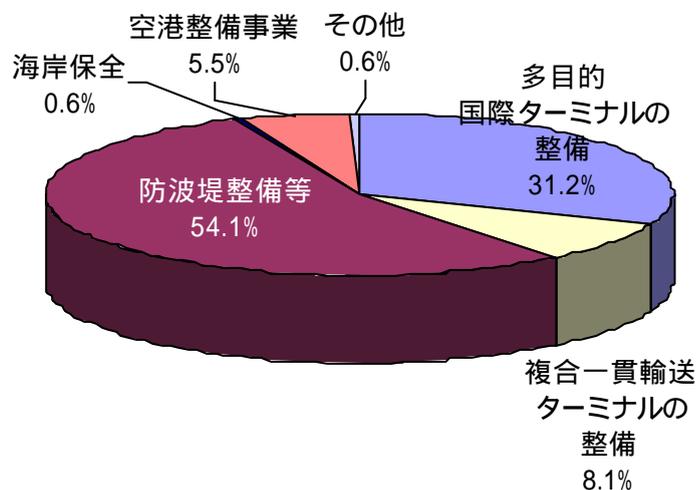
治水関係事業 (直轄) 1,050億円



道路事業 (直轄) 2,411億円



港湾空港事業 (直轄) 217億円



3 . 平成 1 7 年度の重点事項

安全で安心できる地域づくり

- ・ あらゆる災害に強い安全な地域づくり 7
- ・ 雪に強く、安心で快適な地域づくり 13
- ・ 高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり 15

強い東北の創造

- ・ 「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進 17
- ・ グローバル化に対応した
「自立した経済システム」を支える基盤整備 19

美しい東北の実現

- ・ 東北らしい自然環境との共生 21
- ・ 循環型社会の構築 24

魅力ある都市づくり

- ・ 「コンパクトシティ」の推進 25

<安全で安心できる地域づくり>

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

主な目標

河川氾濫や高潮、土砂災害、火山活動などの災害を防ぐため、堤防やダム^{さてつ}の整備等を進めます。

大規模地震や津波に備え、土木施設及び建築物の耐震化や防波堤の整備等を図るとともに、緊急物資の輸送を可能とする安全で信頼性の高い道路網の形成、耐震強化岸壁を備えた港湾の整備等を図ります。

災害時に迅速な対応を行えるよう、ITを活用した情報基盤の整備を進めるとともに、地域や関係機関と情報共有を図るなど、危機管理体制の充実を図ります。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

頻発する洪水・土砂災害への対応

頻発する集中豪雨による河川氾濫を防ぐため、事業の早期完成、効果発現が可能な河川改修・ダム等について重点的に整備を進めます。

(具体箇所例)

直轄：【完成】北上川上流砂鉄川河川災害復旧等関連緊急事業 660百万円(別冊P.20)
補助：【継続：H18完成予定】砂鉄川河川激甚災害対策特別緊急事業 1,600百万円(別冊P.20)

砂鉄川緊急治水対策による治水効果

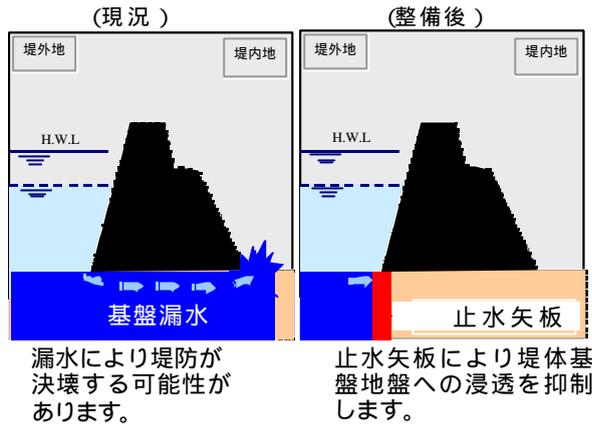


国、県、町、村が連携して事業展開を図ることにより、効率的かつ効果的な砂鉄川の治水対策を促進します。

(具体箇所例)

直轄：【新規】阿武隈川下流 ^{おしわけ} 押分地区堤防質的整備 238百万円 (別冊P.9)

押分地区堤防の質的整備



堤防が決壊した場合、岩沼市街地や仙台空港へ氾濫が及びます

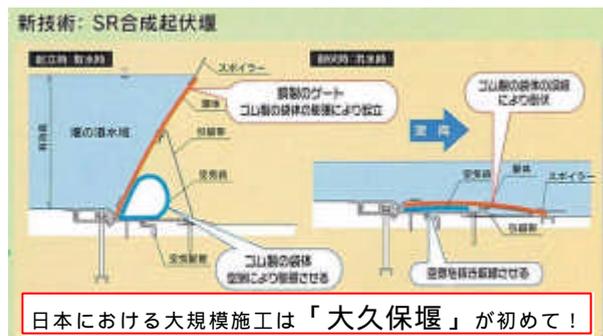
(具体箇所例)

直轄：【完成】雄物川上流大久保堰改築事業 765百万円 (別冊P.22)

大久保堰改築による洪水流阻害の解消



洪水の流れを阻害している旧大久保堰



日本における大規模施工は「大久保堰」が初めて!

堰の改築により洪水流の阻害が解消され、堰上流部の浸水が解消されます。

(具体箇所例)

直轄：【完成】摺上川ダム建設事業 3,100百万円 (別冊P.23)

当初の計画を1年前倒しし
平成17年度に完成



試験湛水の中での摺上川ダム



昭和61年8月洪水 (飯坂温泉)

飯坂温泉 (福島市) で25戸の浸水被害が発生

同規模の洪水が発生しても、氾濫しません



摺上川ダムの完成により約3mの水位低減

土石流や地すべり等土砂災害から重要交通網等ライフラインを保全するための施設整備を進めます。

(具体箇所例)

直轄：【完成】阿武隈川水系直轄火山砂防事業 ^{そでかわ} 袖川第一砂防えん堤 83百万円 (別冊P.24)

土砂対策によるライフラインの確保

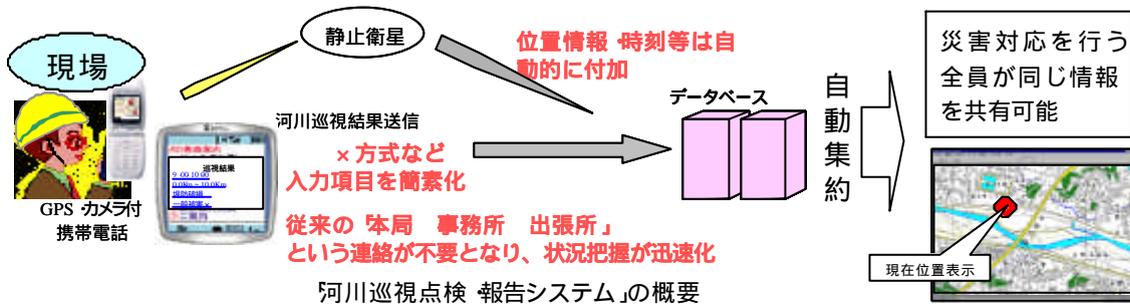


袖川第一砂防えん堤により下流の一般国道13号及びJR奥羽本線・山形新幹線を保全します

洪水に対して堤防等施設が確実に機能するよう維持管理を計画的継続的に実施します。また氾濫等からの人的被害を最小限にするため、ハザードマップの作成を推進します。

IT技術を使った迅速な情報収集

IT技術を活用した情報収集により災害対応の迅速化を図ります。



河川巡視点検「報告システム」の概要

人的被害を最小限にするための取り組み

住民避難に有効な河川等ハザードマップの作成を推進するため、直轄の12事務所に「災害情報普及支援室」を設置し、作成を行う自治体への支援を強化していきます。

災害情報普及支援室の役割 機能

- 市町村への技術的支援
- 氾濫シミュレーション結果の提供
- その他水害危険度情報に関する普及・啓蒙
- 「災害情報協議会(仮称)」の設置

「災害情報普及支援室」の概要



ハザードマップの例(岩手県花巻市)

切迫する宮城県沖地震と津波への対応

都市の防災機能向上を図るため、都市基盤整備並びに電線共同溝等の整備を進めます。

(具体箇所例)

補助：【継続：H20完成予定】仙台駅東第二土地区画整理事業

当該事業費は、他の事業分も含めて一括して交付金として仙台市に配分され、仙台市が事業額を決定することとなるので、現時点で事業費は未定です。

広幅員の都市計画道路や公園等の整備により、火災による延焼を防止



移転が進み都市計画道路(元寺小路福室線)の予定地が見えてきた仙台駅東第二土地区画整理事業

(具体箇所例)

直轄：【継続：H20完成予定】一般国道45号 原町地区電線共同溝 587百万円 (別冊P.40)

電線類地中化による地震に強いライフラインの確保 (イメージ)



地震による電柱の倒壊で、電気・電話等ライフラインが寸断



地中の電線共同溝内に電気・電話線等が収納されるため、地震に強いライフラインが確保できます。

安心な生活を確保するため避難施設の耐震性向上と一般家屋の耐震診断を推進します。

(具体箇所例)

補助：【新規・完成】戸建住宅・マンション耐震診断事業、

県立高等学校耐震改修事業 (宮城県仙台市) 492百万円 (別冊P.19)

避難施設の耐震性向上



耐震補強工事を行う宮城第一女子高等学校 (避難施設)

避難施設に指定されている宮城県内の高等学校7校の耐震補強が完了

緊急輸送路となっている橋梁や、緊急輸送の防災拠点となる岸壁の耐震化・補強を積極的に進めます。また地震等に対して安全な交通が確保できるよう道路の維持管理を計画的・継続的に進めます。

(具体箇所例)

- 直轄：【新規】仙台塩釜港仙台港区 中野地区耐震強化岸壁 100百万円 (別冊P.18)
- 【完成】一般国道4号 名取大橋震災対策 82百万円 (別冊P.30)
- 補助：【継続：H18完成予定】釜石港須賀地区耐震強化岸壁 325百万円 (別冊P.42)

橋梁の耐震補強実施例 (橋脚補強)



橋台・橋脚に被害が生じないように補強を施します。さらに、橋桁が橋台・橋脚から外れることのないよう落橋防止対策も施します。

岩手・宮城県内の橋梁震災対策状況 (直轄管理区間)

H16年度末(見込)	40%
H17年度末(予定)	65%
H19年度末(目標)	100%

跨線橋・跨道橋等の橋脚補強済みの割合

岸壁の耐震化 (仙台塩釜港仙台港区)



大規模震災時における緊急物資の海上輸送の確保と港湾の復旧期間における幹線貨物輸送機能の一定程度の確保を図ります。



阪神淡路大震災における港湾活用の緊急物資輸送の例

非常時・応急復旧時における緊急物資輸送路や主要幹線道路の代替ルートを確認するため、高規格幹線道路等の整備を進めます。

(具体箇所例)

- 直轄：【継続：H18全線供用予定】東北横断自動車道釜石秋田線 一般国道283号 仙人峠道路 7,020百万円 (別冊P.55)
- 【継続：H18部分供用予定】一般国道45号 三陸縦貫自動車道 桃生登米道路 6,307百万円 (別冊P.55)

一般国道45号の代替ルートとして機能する山田道路



津波被害の軽減を図るため、湾口防波堤及び防潮水門等の整備を進めます。

(具体箇所例)

直轄：【継続：H18完成予定】釜石港湾口地区 湾口防波堤 2,478百万円（別冊P.42）

補助：【完成】津軽石川 防潮水門、防潮堤 310百万円（別冊P.26）

釜石湾口防波堤の整備



津波の浸水面積が約8割減少します
(明治三陸津波と同程度の津波の場合)

(対策前) 約140ha

(対策後) 約25ha

つがるいしかわ
津軽石川防潮水門、防潮堤の整備 (完成イメージ)



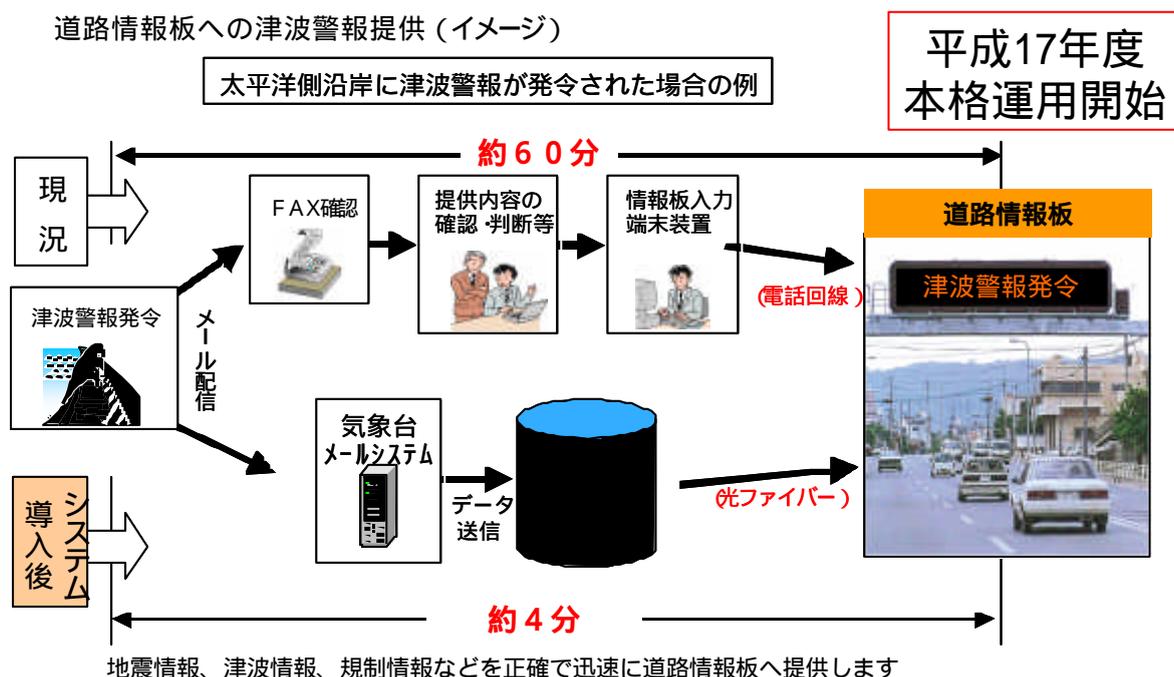
明治三陸津波と同程度の津波
に対して被害を防ぎます

(対策前) 湛水世帯 780世帯
氾濫面積 222ha

(対策後) 被害ゼロ

・自然災害発生時における道路利用者等の安全を確保するため、道路情報表示板へ迅速に津波情報等を表示します。

道路情報板への津波警報提供 (イメージ)



<安全で安心できる地域づくり>

重点事項：雪に強く、安心して快適な地域づくり

主な目標

雪による暮らしの障害を克服するため、冬期歩行空間確保など冬期バリアフリー対策を進めます。

地域間の交流・連携を促進するため、豪雪や地吹雪などに対する除排雪の強化等雪対策を行います。

冬期バリアフリー：積雪によって歩道の幅員が減少したり、凍結によって転倒しやすくなるなどといった、冬期特有の雪による障害を軽減すること。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

冬期間の安全で快適な歩行空間を確保するため、流雪溝や消融雪施設の整備と併せ、地域と連携、協働した歩道除雪を推進します。

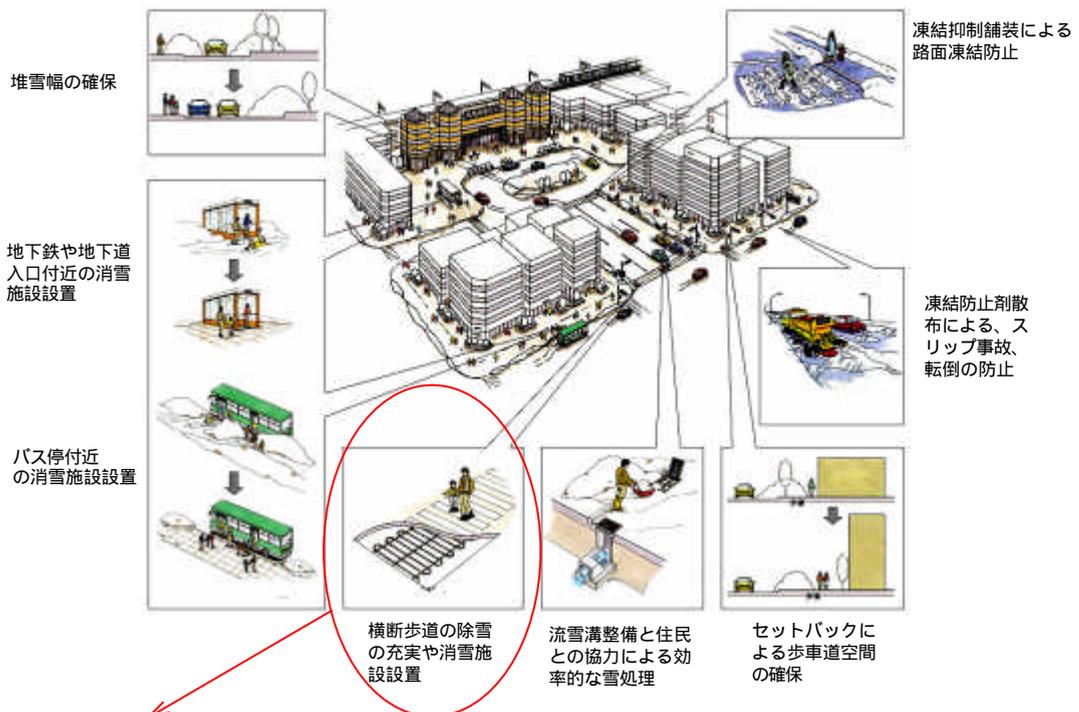
(具体箇所例)

青森市地区冬期バリアフリー事業

直轄：【完成】一般国道4号、7号 200百万円（別冊P.46）

補助：【新規】特別豪雪地帯・三十万人都市 青森市における雪に強い生活空間の形成（地方道路交付金事業）557百万円

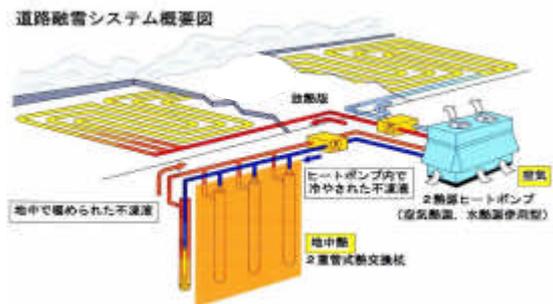
冬期バリアフリー計画図



地中熱等を活用した無散水消融雪施設の整備により、安全で快適な歩道を確保



安心してバスの乗り降りができ、生活環境が改善



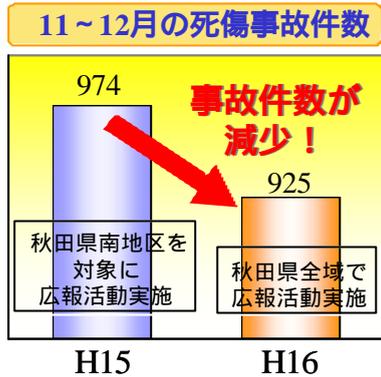
地中熱を活用した道路融雪システムイメージ図

冬期事故削減対策として、広報、啓発活動などを推進します。

(具体箇所例)

【継続】初冬期の交通事故削減対策(秋田県内)

広報、啓発活動による対策効果



資料 秋田県警察本部事故統計
秋田県内全域の初冬期の事故減少

広報による交通安全対策



冬期間の安全な交通を確保するため、県・市町村と連携を図りながら道路の除排雪を推進します。また「除雪車位置情報」を提供し、道路利用者の通行の便に供していきます。



市街地や山間部での除雪作業状況



除雪車両の位置と方向の情報を提供している「除雪車位置情報」ホームページ

冬期間の生活環境の改善を図るため、消流雪用水導入事業によって必要な水量を確保し、除排雪作業の効率を高めます。

(具体箇所例)

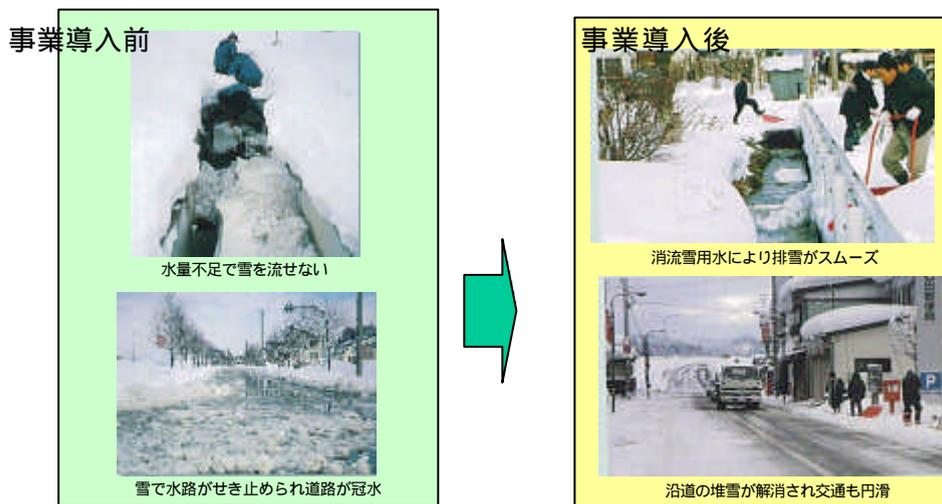
直轄：【新規】最上川清水地区消流雪用水導入事業(山形県大蔵村) 77百万円(別冊P.43)

【完成】最上川名木沢地区消流雪用水導入事業(山形県尾花沢市)

補助：【完成】^{ひろふねがわ} 広船川総合流域防災整備事業(青森県平賀町) 574百万円(別冊P.43)

20百万円(別冊P.44)

消流雪用水導入による冬の生活環境が改善



消流雪用水の導入により除排雪作業が軽減され、冬期間の生活環境が改善されます。

<安全で安心できる地域づくり>

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

主な目標

誰もが安全・快適に暮らせる生活環境づくりを進めるため、交通安全対策や公共空間、住宅・建築物におけるユニバーサルデザインの導入などを行います。高度医療施設までの所要時間を短縮するため、「命を守る道路」など交通基盤の整備を図ります。

ユニバーサルデザイン：すべての人が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

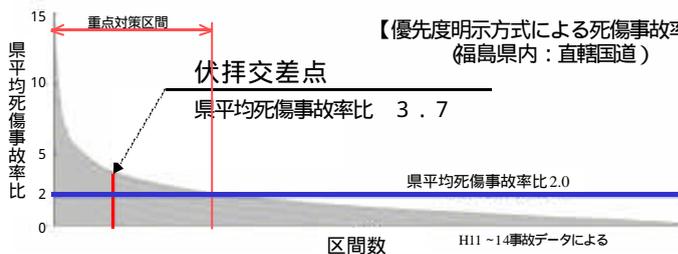
交通事故の減少を目指し、新たに「交通事故重点対策事業費」を創設して予算の重点化(H17事業費 5,391百万円 [前年の1.67倍])を図り、死傷事故率の高い地区・箇所等の交通事故削減対策を重点的に進めます。

- 交通事故の減少に対する目標：交通事故による死傷事故率(件/億台キロ)
H16年度末見込み 74件 H17年度見込み 69件
- 地区・箇所等：「事故危険箇所」「あんしん歩行エリア」及び「優先度明示方式」により抽出(重点対策区内より抽出)された死傷事故率の高い箇所を指す。

(具体箇所例)

直轄：【供用】一般国道4号 伏拝交差点改良 150百万円(別冊P.50)
【供用】一般国道108号 古川駅前大通歩道 120百万円(別冊P.51)

伏拝交差点改良 事故危険箇所対策



伏拝交差点は、交通事故が平均約10件/年発生(県平均死傷事故率比3.7)し、また「事故危険箇所」にも指定されています。

3 事故危険箇所：死傷事故率が幹線道路平均の5倍以上(H8~11データによる)の箇所等で、平成15年に指定(全国約4,000箇所)

現状



交差点形状の改善と左折レーンの延伸を行い、交通事故の削減および交通の円滑化を図ります

発生する交通事故の9割以上が、交差点形状および渋滞が起因する右折事故・追突事故

古川駅前大通歩道：「あんしん歩行エリア」における安全な歩行空間の確保

あんしん歩行エリア 単位面積あたりの事故発生割合の高い地区を選定

整備前



整備後



自転車や車いすがすれ違い可能な歩道幅員を確保するとともに、段差・勾配の解消などのバリアフリー化により、安全な歩行空間の確保を図ります。

高齢者が安心して快適な生活を過ごせるよう、福祉施設と連携した公営住宅等の整備を進めます。

(具体箇所例)

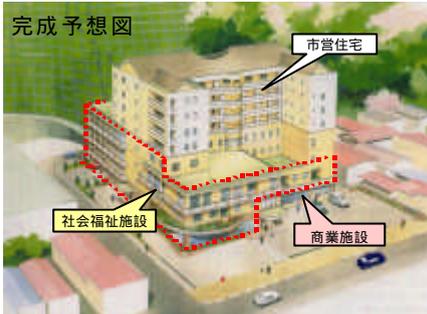
補助：【完成】三日町三丁目地区第一種市街地再開発事業（宮城県気仙沼市）

158百万円（別冊P.53）

【完成】町営板橋南団地整備事業（福島県国見町）

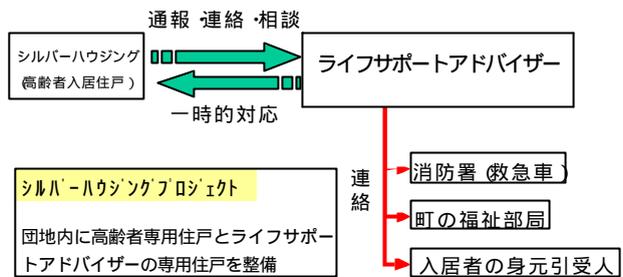
146百万円（別冊P.54）

三日町三丁目地区第一種市街地再開発事業



町営板橋南団地整備事業

福祉と連携した公営住宅整備



高齢者と一緒にライフサポートアドバイザー（生活援助員）が住み、安否確認、生活指導や相談、緊急時の通報等の対応を行うなど、高齢者の安心して快適な生活を図る高齢者対応型公営住宅です。

高規格幹線道路や救急医療施設へのアクセス道路を整備するとともに、高度医療施設への迅速な搬送を支援する救急車退出路の設置を進めます。

(具体箇所例)

直轄：【新規 完成】八戸・久慈自動車道 一般国道45号 久慈道路救急車退出路

【新規 完成】東北中央自動車道 一般国道13号 湯沢横手道路救急車退出路

高度医療施設60分カバー圏域の変化（長期）



緊急退出路整備によるアクセス性の向上（久慈道路）



救急車退出路の設置により八戸方面からのアクセスが約4分短縮されます

八戸方面からの緊急輸送時間 4分短縮

< 強い東北の創造 >

重点事項：「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

主な目標

東北経済の発展等を支えるため、格子型的高速道路ネットワークの形成を図ります。
 地域間の交流・連携を図るため、都市間距離や峠越を克服します。
 空港、新幹線駅、インターチェンジ等の高速交通拠点へのアクセス機能の向上を図ります。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

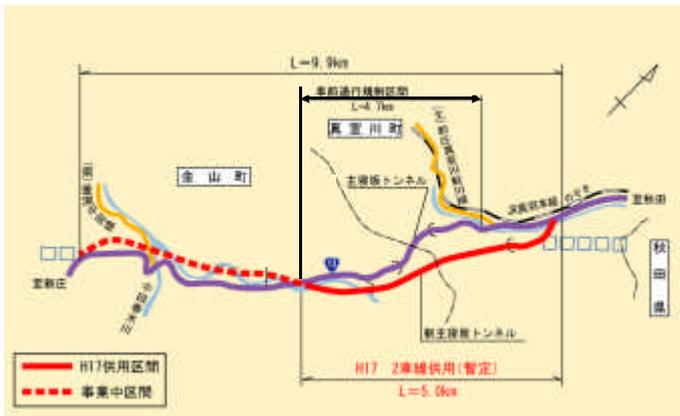
高規格幹線道路・地域高規格道路等の幹線道路を整備し、都市間所要時間の短縮を図り、都市と中山間地域の交流・連携の強化と広域的な生活圏の形成を支援します。

(具体箇所例)

直轄：【新規】一般国道7号 <small>たかのすのおだて</small> 鷹巣大館道路	20百万円 (別冊P.56)
【新規】一般国道45号 <small>かみきた</small> 上北道路	20百万円 (別冊P.57)
【供用】東北中央自動車道 一般国道13号 <small>しめねざか</small> 主寝坂道路	5,511百万円 (別冊P.55,59)
【供用】三陸北縦貫道路 一般国道45号 中野 ^ハ ^ハ ス	1,080百万円 (別冊P.55,60)
補助：【新規・供用】福島空港・あぶくま南道路 主要地方道矢吹小野線	1,900百万円 (別冊P.58)
【供用】下北半島縦貫道路 一般国道279号 <small>のへじ</small> 野辺地 ^ハ ^ハ ス	1,500百万円 (別冊P.55,61)
【供用】一般国道115号 土湯 ^ハ ^ハ ス	2,000百万円 (別冊P.55,62)

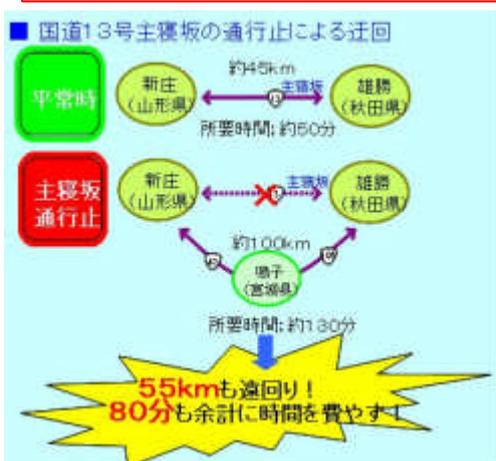
新直轄方式の高速自動車国道 (3路線 7区間) について、引き続き事業・調査を進めます。

主寝坂道路供用の効果



道路幅が狭くすれ違いが困難な主寝坂トンネル

一般国道13号 山形県金山町～真室川町の事前通行規制区間を回避



主寝坂トンネル坑口での被災状況 (昭和50年8月)

広域的な交流・連携を支援するため、高速道路利用者への施設利用料金の割引特典やイベントとタイアップした通行料金割引など、高速道路の利用を促進します。

高速道路の利用促進の取り組み例
(日本海東北自動車道)

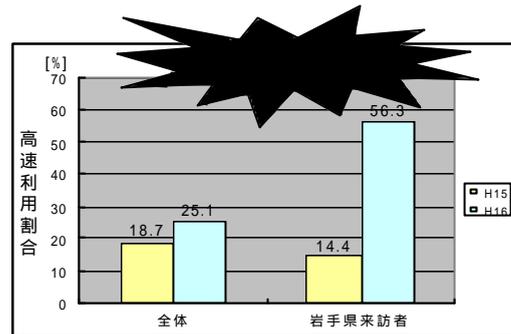
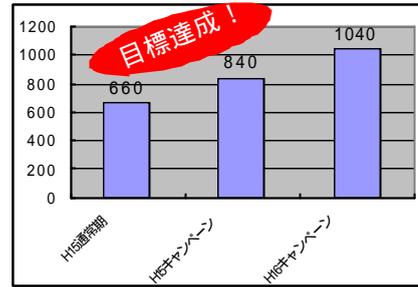


岩手県・宮城県北部をターゲットとした広報

岩手県からの来訪者の
高速利用割合が大幅増加

取り組みの成果

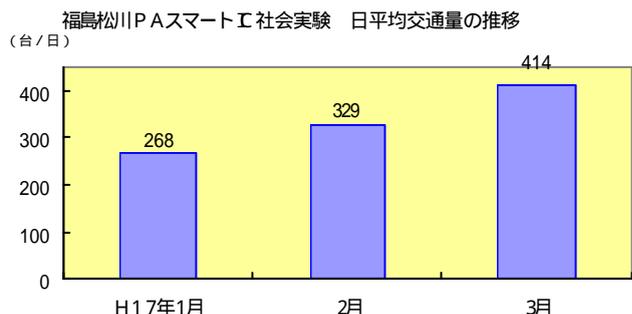
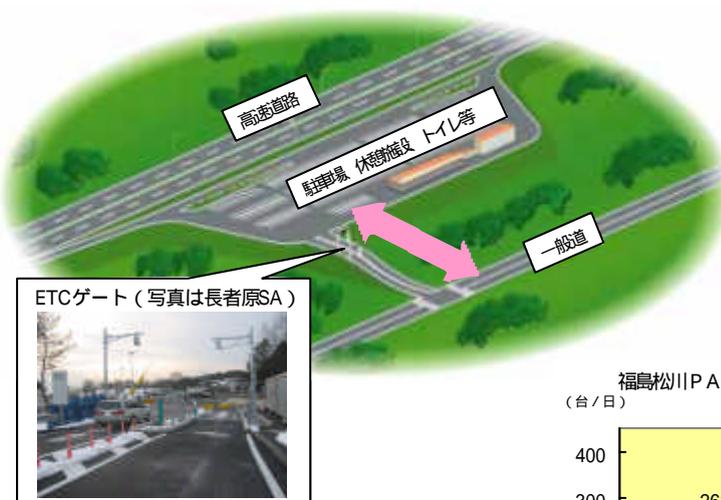
岩城ICの1日平均利用交通量が目標を達成



高速自動車国道を有効活用し、交通の円滑化を通じた地域の活性化を図るため、建設・管理コストの削減が可能なスマートIC (ETC専用IC) を活用し、追加ICの整備を推進します。

スマートIC運営上の課題等を把握するため、「SA・PAに接続するスマートIC社会実験」を実施中
 東北自動車道：福島松川PA (福島県福島市) 長者原SA (宮城県古川市)
 山形自動車道：寒河江SA (山形県寒河江市)

「SA・PAに接続するスマートIC社会実験」のイメージ



平成16年12月27日～平成17年3月20日現在
 日最大交通量 558台/日
 日平均交通量 324台/日 (うち平日平均 362台/日)
 注1: 3月分は3月20日までの集計

福島松川PAでは利用者が着実に増加

< 強い東北の創造 >

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

主な目標

産業競争力を強化するため、港湾の物流機能の充実、高速交通ネットワークの整備等を図り、物流のスピード向上、コストの低減、安全性・定時性・信頼性を確保します。

利用者の利便性向上を図るため、港湾、空港等へのアクセス機能の向上などマルチモーダル交通体系を構築します。

マルチモーダル(交通体系)：道路や航空、海運、水運、鉄道など、複数の交通機関の連携を通じて、利用者の利便性に対応した効率的で良好な交通環境が提供される交通体系。

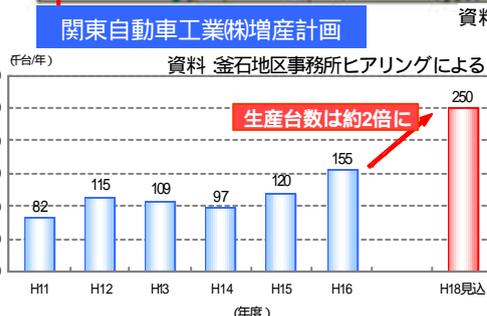
目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

港湾、空港及び高規格幹線道路、地域高規格道路並びにこれらを相互に接続するアクセス道路を整備し、広域物流ネットワークの形成を図るとともに、コンテナ貨物等を輸送する大型車両の走行に対応した道路整備による物流のスピード向上を図ります。

(具体箇所例)

直轄：【供用】一般国道6号 相馬バイパス	2,730百万円 (別冊P.63)
【供用】一般国道7号 青森西バイパス	460百万円 (別冊P.64)
【継続】東北横断自動車道釜石秋田線(遠野～東和間)	5,400百万円 (別冊P.55)
【継続：H18完成予定】東北横断自動車道釜石秋田線 一般国道283号 仙人峠道路	7,020百万円 (別冊P.55)
補助：【継続：H18完成予定】一般国道283号 仙人道路	1,600百万円
【継続：H18完成予定】釜石港須賀地区 多目的国際ターミナル	495百万円 (別冊P.69)

釜石港の物流機能充実とアクセス道路の整備



**釜石自動車道全線供用時
約1時間10分短縮**
(釜石港から自動車生産工場までの間、東北自動車道、東北横断自動車道を利用した場合)

釜石自動車道の整備による時間短縮や、仙人峠道路等と釜石港須賀地区埠頭整備の連携事業により、物流の効率化や地域産業の活性化が図られます。

・コンテナを含む多様な荷姿の外貿貨物、大型船舶に対応した多目的国際ターミナルの整備や、防波堤整備による港内の静穏度確保により、物流の効率化を支援します。

(具体箇所例)

- 直轄：【供用】石巻港^{ひばりの}雲雀野地区 多目的国際ターミナル 3,350百万円 (別冊P.65)
 【供用】秋田港向浜地区^{むかいしま} 多目的国際ターミナル 660百万円 (別冊P.66)
 補助：【供用】仙台塩釜港塩釜港区^{ていざん}貞山地区 国内物流ターミナル (-9m)改良事業
 450百万円 (別冊P.67)

多目的ターミナルの整備



石巻港の整備状況



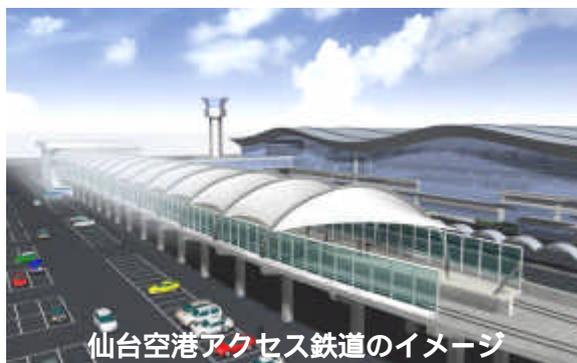
石巻港の整備イメージ

都市から空港に直接乗り入れるアクセス鉄道の整備を推進し、定時性・速達性など空港へのアクセス機能を向上させます。

(具体箇所例)

- 直轄：【継続：H18供用予定】仙台空港アクセス鉄道 960百万円 (別冊P.68)

仙台空港アクセス鉄道の整備



仙台空港アクセス鉄道のイメージ



仙台空港アクセス鉄道の整備により、空港へのアクセス時間が短縮されます。

<美しい東北の実現>

重点事項：東北らしい自然環境との共生

主な目標

- 東北の豊かな自然・歴史・文化などを実感できる個性的なまちづくりや観光振興・交流拠点の整備を行います。
- 生態系の保全などに配慮しながら、自然との共生・調和を目指した社会資本整備を図ります。
- 地域の特性を活かして、利用しやすい親水空間の整備を行います。
- 自然の豊かさを実感できるよう、流域環境・海域環境の保全及び改善を図ります。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

東北の豊かな自然や景観と調和し、地域の特色を備えた住環境と伝統的な街並み景観を有するまちづくりを支援します。

岩手県平泉町における各種取り組み

(具体箇所例)

- 直轄：【継続：H34完成予定】一関遊水地事業 2,406百万円 (別冊P.79)
- 【継続：H19供用予定】一般国道4号 平泉バイパス 2,060百万円



事業着手後に確認された柳之御所遺跡を保存するため、堤防及び国道の計画線を変更するとともに、第三者による委員会の提言を受けて自然景観等を考慮した構造を取り入れています。

(具体箇所例)

- 補助：【継続：供用は関連事業との調整により未定】ウォーキング・トレイル事業¹ (平泉町)
- 補助：【継続：H19完成予定】毛越寺線身近なまちづくり支援街路事業(歴道) (岩手県)²



平泉の歴史文化施設を巡る自然景観に配慮した木道等の整備



JR平泉駅と毛越寺を結ぶ周辺景観に配慮した道路空間の整備

- ウォーキング・トレイル事業：緑豊かな景観・自然、歴史的物事、文化的な施設などをむすび、訪れた人が安全・快適に散歩などを楽しむことができる歩道として整備する事業
- 当該事業費は、他の事業分も含めて一括して交付金として岩手県及び平泉町に配分され、岩手県及び平泉町が事業額を決定することとなるので、現時点で事業費は未定です。

(具体箇所例 秋田県角館町における取り組み)

観光地の渋滞対策の取り組み

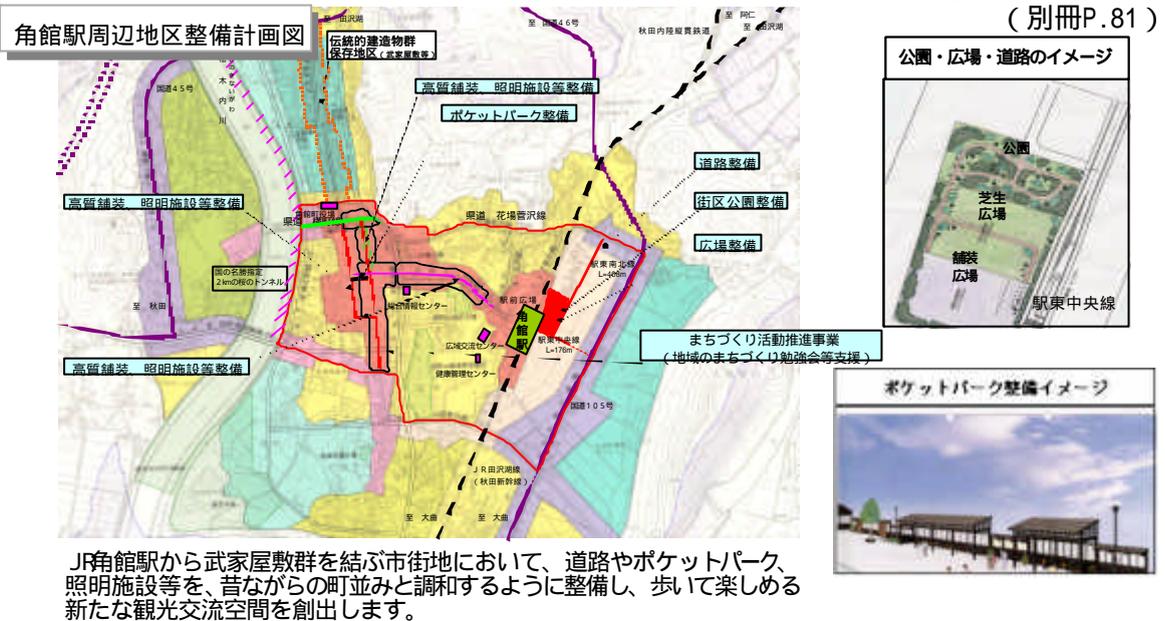
桜の名所である角館町の花見シーズンにおいて、角館町、警察、観光協会、道路公団、東北地方整備局などの関係機関が連携した渋滞対策(渋滞情報の提供、臨時駐車場の設置など)を実施しています。H17年度も引き続き実施し、観光地の利便性向上を図っていきます。



各機関連携による渋滞対策効果
 最大渋滞長 4,200m → 2,600m
 最大通過時間 50分 → 35分

観光地の魅力を向上する取り組み

補助：【継続：H20完成予定】まちづくり交付金「角館駅周辺地区」105百万円[国費]

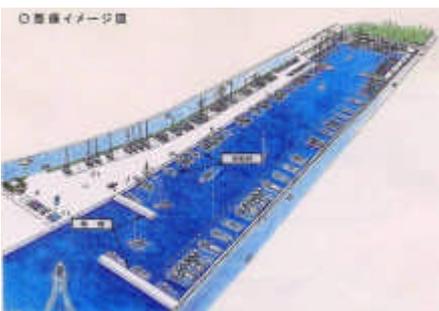


JR角館駅から武家屋敷群を結ぶ市街地において、道路やポケットパーク、照明施設等を、昔ながらの町並みと調和するように整備し、歩いて楽しめる新たな観光交流空間を創出します。

(具体箇所例)

山形県酒田市における取り組み

補助：【継続：H18供用予定】酒田港大浜地区改修(統合補助)事業「ボートパーク事業」



港湾内に散在するプレジャーボートの不法係留は、港や水辺の景観を乱し、水辺利用や観光客へのマイナス効果となっています。そのためボートパークを整備し、一つのエリアにボートを集めることで水辺の景観の改善を図ります。

当該事業費は、他の事業分も含めて一括して統合補助金として山形県に配分され、山形県が事業額を決定することとなるので、現時点で事業費は未定です。

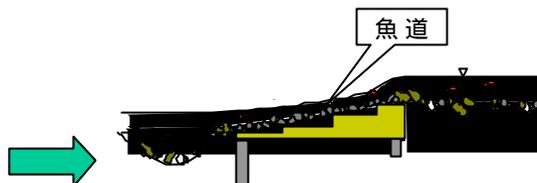
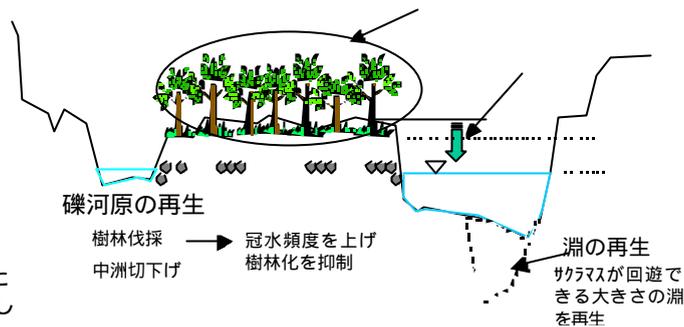
魚道の設置や淵・礫河原の再生などを図り、河川本来の自然を再生します。

(具体箇所例)

直轄：【新規】赤川自然再生事業 (赤川水系直轄総合水系環境整備事業) 140百万円 (別冊P.70)



乾燥・陸地化することにより樹林化した河川について良好な礫河原の存在した昔の姿に戻します。



魚が移動するのが困難な構造物を改良することにより、魚の棲みやすい環境を取り戻します。

・水と緑に親しめる河川空間を整備し、自然体験や環境学習の場を創出します。

(具体箇所例)

直轄：【完成】豊里地区水辺の楽校 (北上川水系直轄総合水系環境整備事業)

95百万円 (別冊P.74)

自然体験や環境学習の場となる河川空間の整備 (イメージ)



整備イメージ



活用イメージ

護岸・人工浜・離岸堤等を整備し、侵食が進行している海岸の汀線の防護と海岸利用の向上を目指します。

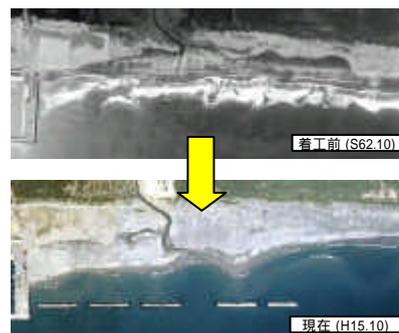
(具体箇所例)

補助：【完成】むつ小川原港海岸尾駈地区侵食対策事業 74百万円 (別冊P.75)

海岸の保全対策



むつ小川原港海岸尾駈地区の離岸堤整備状況



離岸堤の整備により回復する砂浜の状況

<美しい東北の実現>

重点事項：循環型社会の構築

主な目標

建設廃棄物の発生抑制、廃棄物の再資源化、建設発生土の有効利用など徹底したリサイクルを推進します。

資源の有効利用を目指して、静脈物流システムの整備を図ります。

健全な水循環の確保のため、貴重な水資源の保全・開発・有効活用を図ります。

自然を利用したクリーンエネルギーの積極的な導入を図ります。

静脈物流システム：消費者から排出され、利用後の廃棄物が回収、再資源化されるまでの物流システム。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

建設発生土を活用した廃棄物埋立護岸を整備すると共に、リサイクルポートにおける港湾整備を進め、企業立地の促進を図り、総合的な静脈物流ネットワーク拠点を形成します。

リサイクルポート：広域的なリサイクル施設の立地に対応した静脈物流の拠点づくりを支援する港湾のこと。

(具体箇所例)

補助：【継続：H25完成予定】小名浜港東港地区 廃棄物処理施設整備事業 660百万円 (別冊p.84)

リサイクルポートの指定により、酒田港のリサイクル関連の立地企業が増加

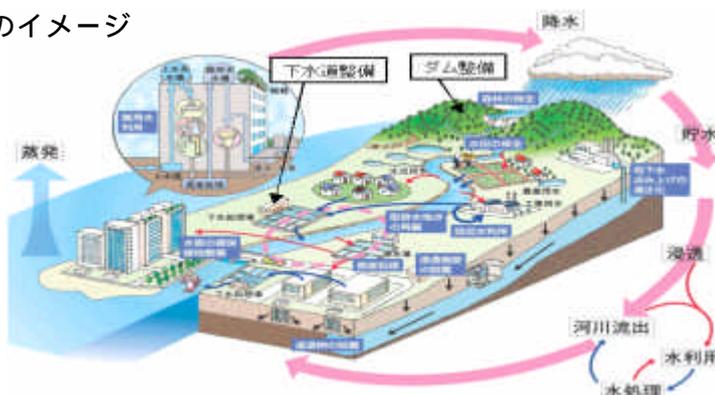


健全な水循環の確保のため、ダム整備により安定した水の供給と水資源を開発するとともに、流域において静脈的役割となる下水道事業を推進します。

(具体箇所例)

直轄：【継続：H25完成予定】胆沢^{いさわ}ダム建設事業 12,700百万円 (別冊P.83)
補助：【供用】特定環境保全公共下水道事業 (宮城県雄勝町^{おがつまち}) 417百万円 (別冊P.82)

水循環のイメージ



道路の消融雪施設等においてクリーンエネルギーの活用を推進します。(P.13頁再掲)

(具体箇所例)

直轄：【完成】一般国道4,7号青森市地区冬期バリアフリー事業 200百万円 (別冊P.46)

< 魅力ある都市づくり >

重点事項：「コンパクトシティ」の推進

主な目標

都市圏の交通の円滑化、環境の改善を図るため、道路交通渋滞対策を行います。中心市街地の活性化等を図るため、交通結節点の機能強化、街なか居住、無電柱化の推進等により魅力ある都市への再生を進めます。住民等が快適な生活を送ることができるよう、水と緑に親しめる都市環境の形成、沿道環境の改善を図ります。

目標達成のためのH17年度の具体的な施策の例

交通渋滞の解消 緩和と環境の改善を図るために、各都市の規模、交通特性に応じた、道路周辺の土地利用を考慮しつつ総合的な都市交通対策を実施します。

(具体箇所例)

- 直轄：【新規】一般国道112号 霞城改良（事業延伸） 650百万円（別冊P.88）
- 【供用】一般国道46号 盛岡西バイパス 540百万円（別冊P.93）

盛岡市内の渋滞ポイント



岩手県内の交差点 5箇所の渋滞が解消・緩和

たてさか 館坂交差点の渋滞状況



< 岩手県における渋滞アンケート調査 (H15) による渋滞指摘の多い上位地点 >

順位	交差点名	路線名	指摘数
1	館坂交差点	国道46号	41
2	明治橋南袂交差点	(県)不動盛岡線	38
3	ファル菓子店前交差点	国道4号	25
4	三本木(サティ)前交差点	国道4号	20
5	高梨交差点	国道4号	18
6	銅谷町交差点	(主)一関大東線	17
7	開運橋西袂交差点	(主)盛岡停車場線	16
8	明治橋北袂交差点	(県)不動盛岡線	15
9	高松二丁目交差点	国道4号	14
10	南大橋北袂交差点	国道4号	12

盛岡西BPの供用効果を受けると思われる箇所に赤着色。

道路の地下空間に電力線、通信線等をまとめて収容する電線共同溝の整備を進め、歩行者及び自転車を優先とする快適な生活空間を形成します。

(具体箇所例)

- 直轄：【完成】一般国道49号 郡山市開成山地区電線共同溝 599百万円（別冊P.94）
- 【完成】一般国道112号 山形市荒楯町地区電線共同溝 152百万円（別冊P.95）



電線共同溝の整備により快適な歩行空間を形成 (山形市内)

鉄道・バス・自転車・徒歩等、複数の交通手段をつなぐ鉄道駅等の交通結節点を改善し、利用者の利便性の向上、都市の交通機能の強化を図ります。

(具体箇所例)

補助：【完成】泉中央駅地区交通結節点改善事業 100百万円(別冊P.96)



泉中央駅地区の整備内容

キス&ライド 家族などに最寄りの鉄道駅及びバス停まで車で送ってもらい、鉄道及びバスに乗り換える方法

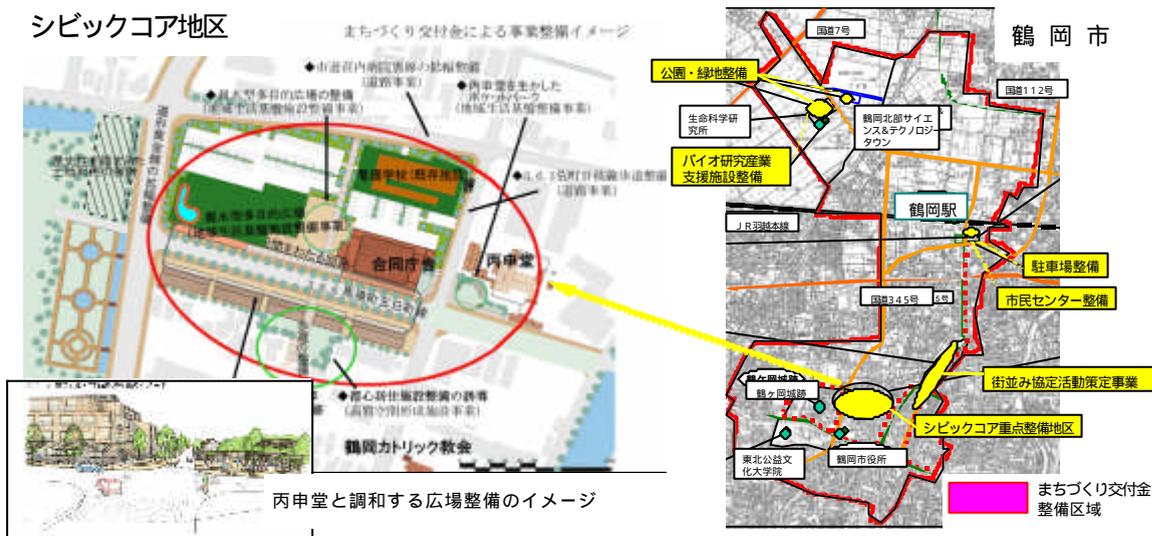
・中心市街地の活性化を促すため、市街地再開発事業やまちづくり交付金による事業、市街地への官庁施設整備を進めます。

(具体箇所例)

補助：【完成】青森駅前第一地区第一種市街地再開発事業 1,091百万円(別冊P.97)

補助：【新規】まちづくり交付金「鶴岡市街地区」 390百万円[国費](別冊P.91)

まちづくり交付金「鶴岡市街地区」による中心市街地活性化の取り組み
シビックコア地区



シビックコア地区の鶴岡公園周辺の道路や公園、建物の整備、及び駅前地区や北部拠点の施設整備等により、各地区の連携強化と都市機能集積による賑わいのある中心市街地の再生を図ります。

(具体箇所例)

直轄：【完成】青森地方法務局 五所川原支局 412百万円(別冊P.102)



五所川原市の新都市複合拠点ゾーンに新たな法務局舎を整備することにより、既存官署(合同庁舎)との一体化による施設利便性の向上や、街のにぎわい促進が期待されます。

4 . 地域との対話の重視

地域との対話をすすめることにより、地域に根ざしたよい、良い社会資本整備・管理に努めます。

事例 1 市民との対話によるみちづくり

三陸縦貫自動車道本吉気仙沼道路では、構想段階から市民と一緒に道路計画の検討を行うなど、市民の意向を適切に反映した計画策定を進めています。



市民と一緒に道路計画を検討(説明会の様子)

事例 2 市民参画型の道路管理

地域住民と歩道除雪、道路点検、除草清掃等を協働することにより、地域の意見を反映した利用者の視点での道路管理を推進します。



国道 7号(秋田市)におけるボランティアサポートプログラムによる歩道除雪

事例 3 ロードセーフティステーション(R.S.S)

(H14.9～全国初)

コンビニエンスストアを道路管理情報支援の拠点とし、道路利用者からの情報を活用します。



ロードセーフティステーション

平成 15年 7月 26日の宮城県北部連続地震では、被災地周辺の道路が大渋滞していましたが、R.S.Sを活用した「渋滞情報」が災害支援車輛の誘導に大きく貢献しました。

事例 4 住民の「活動・交流・連携」を支援

仙台市のNPO法人「広瀬川の清流を守る会」が実施している水質保全、河川愛護(美化)、川を軸としたまちづくり等に関する取り組みを支援し、住民と一体となってよい地域の形成を図ります。



「広瀬川の清流を守る会」によるホタルの移植

事例 5 市民ワークショップによる計画策定

鶴岡第 2地方合同庁舎周辺地区における整備構想の策定に当たっては、中心市街地における官庁施設のあり方や官庁施設を踏まえた地域活性化方策等について市民ワークショップにより検討しています。



中心市街地の活性化方策を検討する「ワークショップ」 - 27 -

八戸港では、美しく活力のあるみなとまちを目指して「みなとまちづくり計画」の策定を進めており、市民と共働して計画を作成しています。



みなとの活用方策について計画を策定するため、参加者が自らみなと周辺を歩いて課題を見つける「フィールドワーク」を実施

5 . 効率的な事業執行

成果目標の明示や事後評価の実施を通じて透明性の向上を図るとともに、コスト縮減等による効果的な事業執行に努めます。

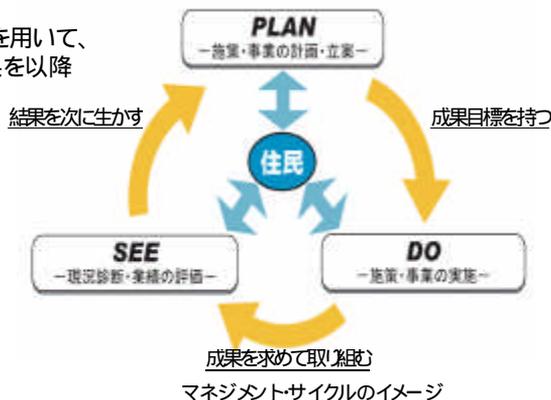
事例1 成果主義の実践～道路行政での取り組み例

平成15年度より、成果を重視した道路行政運営のしくみ(道路行政マネジメント)を導入し、5年後の成果目標、供用目標を示した「5年で見えるみちづくり～東北のみちサービス・レベルアッププラン～」を策定し、効果的かつ透明性の高いみちづくりを進めています。

また、各県において、事業の成果を表す指標(アウトカム指標)を用いて、数値目標を事前に設定し、毎年達成度の評価を行い、その結果を以降の施策・事業に活かすマネジメント・サイクルを実践しています。



各県版の達成度報告書・業績計画書を作成

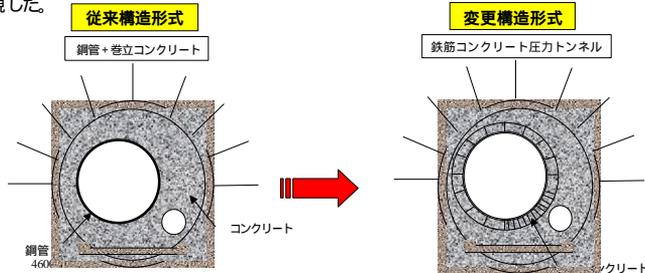


事例2 徹底したコスト縮減～摺上川ダム建設事業の例

現在建設中の摺上川ダムでは、導水トンネルの構造変更や人力作業の機械化、付替道路における建設残土の利用などの徹底したコスト縮減・工期短縮の取り組みにより、約80億円もの事業費縮減、完成予定年の1年前倒し(平成18年度 平成17年度)を図りました。

導水トンネルの構造変更

ダム貯水池からの利水・緊急時の放流のための導水路の設計において、従来、一般的には鋼管とそのまわりへのコンクリートで対応してきたが、本ダムでは、従来の鋼管の代わり、圧力トンネル(鉄筋コンクリートによる導水路トンネル)構造とすることで大幅なコスト削減を実現した。



縮減前 19.3億円

縮減後 3.3億円
縮減額 16.0億円
縮減率 83%

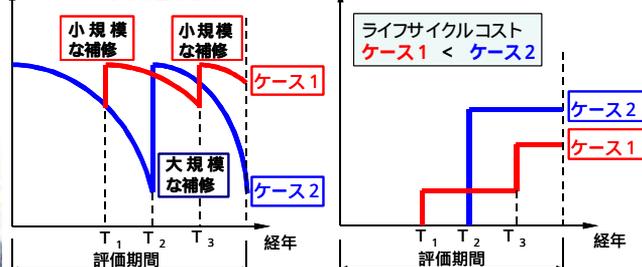
摺上川ダム建設事業におけるコスト縮減例 ▶

事例3 更新時代に向けた道路資産管理の取り組み

道路構造物の安全性を確保するための維持修繕を重点的に行うとともに、橋梁延命化のための予防的修繕のマネジメントを強化することにより、耐用年数の向上とライフサイクルコストの縮減を図ります。

- ケース1：予防的補修(ライフサイクルコスト最小化)
- ケース2：補修限界になった時点で補修

経年により構造物の健全度が劣化、補修により健全度を確保



ケース1の補修方法を選択

塩害による橋梁の損傷 (一般国道7号温海地区(山形県)) ▶



(参考) 目標達成のための指標一覧及びフォローアップ状況 (平成17年3月現在)

<安全で安心できる地域づくり>

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	---	5,100戸	6,400戸	18,200戸	58,800戸
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	680箇所	720箇所	760箇所	780箇所	960箇所
津波 高潮による浸水被害防護区域の拡大 (国交省分)	9,777ha	9,980ha	10,306ha	10,543ha	15,815ha
跨線橋 跨道橋等の耐震補強済みの割合	40%	61%	78%	100%	---
耐震強化岸壁の充足率	30%	30%	30%	40%	着実に増加
河川情報の提供が可能となる市町村	17市町村	17市町村	18市町村	95市町村	147市町村

重点事項：雪に強く、安心で快適な地域づくり

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
冬期歩行空間確保率	77%	80%	81%	82%	約100%
消流雪用水導入事業(新規箇所、運用改善)による受益人口	46,200人	63,200人	63,900人	73,400人	74,400人
冬期2車線確保率	75%	76%	76%	76%	約85%

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
市街地の歩道の幅員化率	22% (678km)	23% (700km)	23% (712km)	24% (735km)	着実に増加
交通事故による死傷事故率(件/億台キロ)	73	74	69	66	着実に減少
救命救急センターに1時間で行ける人口	730万人	736万人	736万人	740万人	約870万人
官庁施設のバリアフリー	57%	60%	62%	90%	100%

バリアフリー：障害者や高齢者・妊産婦などが一般社会の中で遭遇する不便さ(障壁：バリアー)を取り除くこと。

<強い東北の創造>

重点事項：「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
高速道路まで1時間で行ける人口の割合	97%	99%	99%	99%	約100%
規格の高い道路を使う割合	8%	8%	8%	9%	約15%
都市間所要時間の短縮	100分	98分	97分	95分	約70分
高速道路と結ばれる空港の数	7/9	7/9	8/9	8/9	9/9

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	46%	46%	49%	49%	63%
風浪によるコンテナ定期航路の抜港 遅れ発生回数	43回/年	34回/年	34回/年	30回/年	16回/年
高速道路と結ばれる重要港湾の数	5/15	7/15	7/15	7/15	14/15

<美しい東北の実現>

重点事項：東北らしい自然環境との共生

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
都市における良好な樹林地等を有する都市公園等の面積	2,400ha	2,458ha	2,510ha	2,600ha	着実に増加
海辺に親しむことができる水際線の増加(国交省分)	373km	373km	373km	377km	440km
海岸の汀線防護による侵食進行の防止(国交省分)	277km	279km	281km	289km	353km

重点事項：循環型社会の構築

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
廃棄物海面処分場の整備率	73%	77%	80%	91%	100%
東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量	198万トン	220万トン	230万トン	概ね250万トン	着実に増加
ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量	---	0	259,000m ³ /日	259,000m ³ /日	410,000m ³ /日
下水道処理人口普及率	50%	53%	55%	59%	75%

<魅力ある都市づくり>

重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	H14年度末	H16年度末 (予定)	H17年度末 目標	H19年度末 目標	将来目標 (長期)
道路渋滞による1人当たりの年間損失時間	33時間/年	32時間/年	31時間/年	29時間/年	着実に減少
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	630ha	740ha	---	1,015ha	着実に整備
県庁所在地の無電柱化率	10%	12%	14%	概ね20%	着実に増加

注1) H16年度末は予定値であり、今後変更する場合がある。

2) H14年度末が「-」となっている指標の各年次の数値は、H14年度末を基準とした増加量を示す。

3) 各指標の定義については次頁参照。

4) 将来は概ね10～15年後を示す。

各指標の定義一覧

<安全で安心できる地域づくり>

重点事項：あらゆる災害に強い安全な地域づくり

指標名	定義
洪水が発生した場合の床上浸水被害軽減	洪水が発生した場合の床上浸水が解消された戸数の増加量
土砂災害から保全される重要交通網等ライフライン箇所数	土石流危険渓流及び地すべり危険箇所等において、砂防関係事業を実施することにより、土砂災害から主要な道路や鉄道など重要交通網等ライフラインが保全(安全が確保)される箇所数
津波・高潮による浸水被害防護区域の拡大	浸水防護対策が必要な面積に占める防護完了面積
跨線橋・跨道橋等の耐震補強済みの割合	直轄国道のうち、平成8年度震災点検において耐震補強が必要な跨線橋・跨道橋等二次的災害が想定される橋梁のうち、耐震補強が実施されている橋梁(橋脚)の割合
耐震強化岸壁の充足率	東北各県の重要港湾の中で基本方針に定められている耐震強化岸壁の整備が完了している割合
河川情報の提供が可能となる市町村	光ファイバーネットワークの拡大により、提供が可能となる市町村数

重点事項：高齢社会等に対応した安心して生活できる地域づくり

指標名	定義
市街地の歩道の幅員化率	市街地部の一般国道区間のうち自転車歩行者道の有効幅員3mを確保した歩道区間の割合
交通事故による死傷事故率	自動車が1億台キロ走行する間に遭う死傷事故の確率
救命救急センターに1時間で行ける人口	最寄りの高度医療施設(救命救急センター)に自動車専用道路等を利用し、60分で到達可能な市町村の人口
官庁施設のバリアフリー	既存官庁施設でハートビル法に基づくバリアフリー化改修が完成する施設の割合

重点事項：雪に強く、安心して快適な地域づくり

指標名	定義
冬期歩行空間確保率	雪みち計画による冬期歩行空間確保延長に対する対策済み延長の割合
消流雪用水導入事業(新規箇所、運用改善)による受益人口	消流雪用水導入事業により生活環境改善効果が見られる受益人口
冬期2車線確保率	一般国道、主要地方道及び一般県道のうち積雪地域において冬期除雪等により2車線が確保される延長の割合

ハートビル法：高齢者や身体障害者等の自立と積極的な社会参加を促すため、不特定かつ多数が利用する建築物において、高齢者や身体障害者等が円滑に利用できるような整備を促進するための法律。

<強い東北の創造>

重点事項：「縦」、「横」のネットワークによる広域的な交流・連携の推進

指標名	定義
高速道路まで1時間で行ける人口の割合	自動車専用道路(高規格幹線道路・地域高規格道路)等のICから60分で到達可能な人口の割合
規格の高い道路を使う割合	自動車専用道路等を利用する交通の割合
都市間所要時間の短縮	隣接の地方生活圏中心都市(38都市)相互の所要時間
高速道路と結ばれる空港の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な空港の数

重点事項：グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

指標名	定義
40,000DWT以上の船舶が貨物を満載して着岸できる岸壁の充足率	管内港湾において、計画されている水深13m以上の岸壁のうち整備が完了している岸壁の割合
風浪によるコンテナ定期航路の抜港遅れ発生回数	コンテナ定期航路就航港のうち、風浪等によって抜港・遅れが生じた回数
高速道路と結ばれる重要港湾の数	自動車専用道路等のICから10分以内で連絡可能な重要港湾の数

<美しい東北の実現>

重点事項：東北らしい自然環境との共生

指標名	定義
都市における良好な樹林地等を有する都市公園等の面積	DID地区 及びその近傍の良好な樹林、湿地等を有する2ha以上の都市公園及び都市における地域性緑地面積（緑地保全地区、条例に基づく緑地のみ）
海辺に親しむことができる水際線の増加	地域特性を活かした利用しやすい海辺親水空間の整備延長
海岸の汀線防護による侵食進行の防止	侵食対策が必要な延長に占める海岸保全施設の整備延長

重点事項：循環型社会の構築

指標名	定義
廃棄物海面処分場の整備率	東北管内における廃棄物海面処分場の整備率
東北地方の重要港湾における廃棄物・リサイクル資源取扱量	東北地方の重要港湾の中で、廃棄物・リサイクル資源の取扱量
ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量	ダム完成による上水道・工業用水の供給可能量の増加量
下水道処理人口普及率	総人口に対して、下水道を利用できる人口の割合

<魅力ある都市づくり>

重点事項：「コンパクトシティ」の推進

指標名	定義
道路渋滞による1人当たりの年間損失時間	一般県道以上の道路における渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間との差を人口で除した値
区画整理により良好な宅地等が形成される面積	DID地区 内で実施中の土地区画整理事業で整備が完了した面積
県庁所在地の無電柱化率	県庁所在地での市街地の幹線道路（県道以上）延長に対する、無電柱区間（電線・電柱が存在しない区間）の割合

DID地区：市町村の区域内での人口密度4,000人/？以上の地区が互いに隣接して、その人口が、5,000人以上となる地区。人口集中地区。